



県とセブン-イレブン・ジャパンが包括協定を締結

山梨県と株式会社セブン-イレブン・ジャパンは、昨年11月5日、県内の活性化や県民サービスの向上を図ることを目的に「地域活性化包括連携協定」を締結しました。

この協定には、地産地消や情報発信、災害対策など広範囲な分野において、両者が連携し活動していくことが盛り込まれています。

また、この協定締結を記念して、県内155のセブン-イレブン店舗において山梨県産の食材を活用した「秋の甲州うまいものフェア」が開催されました。



「小水力発電開発支援室」を企業局に設置

昨年11月11日、環境施策の一環として「小水力発電開発支援室」を県企業局内に設置しました。

支援室では、設置を希望する市町村、民間企業、NPOなどに対して、小水力発電に関する相談をはじめ、計画立案支援、技術的支援などを行っていきます。

現在、県内の小水力発電は、18カ所で稼働しています。これまでに調査をした結果、県内で小水力発電が可能な適地は、100カ所ほどあることが分かりました。県では、環境に優しい小水力発電所が一つでも多く開発されるように支援していきます。

看板を設置する横内知事と今村公営企業管理者



「富士山憲章制定10周年記念フォーラム」開催

昨年11月18日、富士山憲章の制定10周年を記念するフォーラムが富士吉田市で開催されました。この憲章は、日本の象徴である富士山の全国的な保全継承運動を展開していく原点として、平成10年のこの日に山梨・静岡両県が制定しました。作家 新井満さんやアルピニスト 野口健さんなどによるパネルディスカッションでは、富士山の魅力について語りながら10年間の取り組みを振り返るとともに、世界文化遺産登録を見据えた今後の課題などについて意見交換が行われました。

「富士山の恵みを永遠に引き継ぐ～過去、現在、そして世界遺産へ～」と題して行われたパネルディスカッション



宇宙飛行士 土井隆雄さんから横内知事に贈られた「星つむぎの歌」のCD

10回目を迎えた「ライトダウン甲府バレー」に宇宙飛行士 土井隆雄さんが参加

昨年10月25日に、10回目を迎えた「ライトダウン甲府バレー～星つむぎの歌が聞こえる～」が、甲府盆地一帯で行われました。ライトダウン甲府バレーは、平成10年から県立科学館と同実行委員会が行ってきたもので、美しい星空がここに住む人たちの誇りになることを目指した活動です。今回は、それまでの倍近い1,000カ所に及ぶ店舗・企業・公共施設が消灯に協力しました。また、県立科学館が企画し、多くの人々の星への想いがつむがれた「星つむぎの歌」を歌いながら星空を見上げるのが今回のコンセプト。それに共感した甲府市立東中学校出身の宇宙飛行士 土井隆雄さんと、「星つむぎの歌」を歌う平原綾香さんが参加し、星や山梨への想いを語った対談や、星つむぎの歌の合唱が行われました。当日は曇り空で星はあまり見えなかったのですが、ライトダウンされていく街に多くの人々が感動していました。



宇宙飛行士 土井隆雄さんと歌手 平原綾香さんの対談

この日は、横内知事と土井隆雄さんの対談も行われ、宇宙に実際に持って行った「星つむぎの歌」のCDと記念パネルが知事に贈られました。



富士・東部小児初期救急医療センター開所式

「富士・東部小児初期救急医療センター」開設

昨年10月30日に富士吉田市にある富士北麓総合医療センター内に「富士・東部小児初期救急医療センター」がオープンしました。

休日・夜間に小児の軽症患者の診察を行う施設として、甲府市内のセンターに次いで2カ所目の開設となります。

このセンターでは、県内の小児科医約70名が交替で診療に当たっており、オープン以来、子を持つ親の安心のよりどころとして、地域の方に利用されています。

広告掲載枠

こちらに広告を掲載することができます。
詳しくは広聴広報課までお問い合わせ下さい。

広告掲載枠

こちらに広告を掲載することができます。
詳しくは広聴広報課までお問い合わせ下さい。